



旅籠「油屋」を守るために

福岡県景観大会で 大原小学校が活動発表

3.1
sat

第8回福岡県景観大会が太宰府市の九州国立博物館で開催され、大原小学校4年1組の児童5人が県内各地のまちづくり活動発表で、松崎地区の旅籠「油屋」について発表しました。

旅籠「油屋」は、江戸時代の旅籠建築で小郡市指定文化財であり、地域住民が地域や文化財を守っていくために、思いや願いをもって努力されていること。そして、自分たちも小郡市民として、これから松崎の宿場町の保存をどうしたらいいかについて発表し、旅籠「油屋」のキーホルダーやキャラクタ「アポボン」を提案しました。

多くの偉人が通った道 薩摩街道を歩く

2.23
sun

NPO法人小郡市の歴史を守る会と小郡市教育委員会主催、キンビール福岡工場協賛によるモニターツアーが行われました。

小郡市には光行から松崎を通過して乙隈までのびる薩摩街道があり、江戸時代からさまざまな大名・商人などがこの道を通ったとされています。現在でもその名残として一里塚跡や国境石などが残っており、今回はそれらに加えて街道沿いに点在する文化遺産(石造物や伝承など)を調査員が解説しながら巡りました。

終了後には「勉強になった」「地元に着きよかった」などの声があがりました。小郡市の歴史を守る会は参加者のアンケートを基に「特別街道遺産10選」を選定し、活用計画を策定予定です。



随想100

「趣味のバンド活動を通じて」

伊藤 浩一(三国が丘1)

幸せなことに社会人になってからもずっと趣味で音楽を続けることができました。中学生の頃、井上陽水にあこがれてフォークギターを手にし、高校時代はチューリップをお手本にエレキギターでバンドを組み、その後シンセサイザーも弾いて50歳を越えた今もアマチュアでバンド活動を続けています。

バンド名はリトルポップシュガー。10年前にベース、ドラムの方と私の男性3人が中心となって6人組のバンドを結成し「飛び出して音楽祭」に出場。自主ライブも七夕ホールで開催しました。その後メンバー交代を経て数年前にキーボードとボーカルの女性2人がボランティア活動のご縁で加わり、現メンバー5人全員が小郡市民です。普段はのぞみ丘生楽館音楽室に楽器と機材を持ち込んで練習しています。そして年に数回、みくにっこアンビシャス広場の「桜コンサート」や「お月見会」、のぞみ校区地域文化祭などで出演の機会を頂いて、洋楽からJポップまでいろんなアーティストの楽曲を演奏して楽しんでいます。

今後の夢は聞く方も演奏する方も気軽に生演奏を楽しめるような手作りライブを実現すること♪小郡市内で活動されている親父バンドやお母さんたちの音楽サークル、高校生や大学生にも「音楽イベントと一緒にやりませんか」と呼び掛け、自分達なりに“音楽のまち小郡”に貢献できればと思っています。

次号(平成26年6月号)は田中浩行さん(上町)へリレーされます

